

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	飲食店客同士のけんかで、救急車収容時に負傷者の血液に接触しそうになった。
3. 体験した事例の中心的要素	負傷者1名を現場から救急車に収容しようとしたが、酩酊で不穏状態となっているため、ベルトにより固定を行っているが、転落を考慮しストレッチャーを低位にて安全を確保して移動していたところ、突然動き出し、手に付着している血液が救急隊員の顔面に接触しそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	転落防止を最優先に考えストレッチャーを低位で移動したため、救急隊が前傾姿勢となり傷病者により接近してしまった。感染防止（手袋、ガウン、手袋）を図っていたが、ゴーグルを装着していなかったため、顔面（特に眼）への感染防止が手薄になっていた。さらに酩酊により不穏状態であったため、行動の予測が困難であった。

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 19 年 12 月 16 日 午前 1 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋外：飲食店街
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	有害物と接触
7. 事例体験時の活動	救急、現場活動初期 []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	車両への収容
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1，2回程度体験している。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：負傷者が、酩酊により不穏状態となっており行動の予測が困難であったこと。
--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

